

ぱるす

発行日 1998年10月1日 第2号
発行 札幌歯科医師会立口腔医療センター
〒064-0807 札幌市中央区南7条西10丁目
TEL (011)511-7774 FAX (011)511-1530
<http://www2.tky.3web.ne.jp/~sasshi>
E-mail sasshi@tky2.3web.ne.jp
発行人 小林重行 発行責任者 鶴岡一彦

『利用する私たち自身も変わらなくちゃ』

地域生活支援を考える会 岩淵 真知子

我が家の長男は、いわゆる「自閉的傾向」があると3才の時に言われ現在15才になります。とにかく「多動」でずいぶん長い間、彼のことがわからず振り回されて、主導権を彼が持った生活でした。ある日、友人から「喘息を持っている子供だって、子育ては大変、どうして良いのかわからないこともあるし、時には命だって危ない。将来だって、不安だらけだけど、子供は子供。障害を持っていても同じ子供だよ」そんな言葉にハッと我に振り返りました。それから、「この子も4才の1人の子供なんだ」を基本に独特の行動の中にこの子の表現したい事があるのだ。ある意味で「障害」ということから距離を置くことでこの子の子育てをしてきたように思えます。

そんな子育てをしていると、どうしても「地域」ということを意識せざる得ませんでした。様々な出来事に地域も人々も様々な反応、対応がありましたが、「この子も街に暮らしている、生きているんだ。この子にも街に慣れて、そして街もこの子に慣れてほしい、共に生きることができると、違った意味で相変わらず振り回されています。

そんな中で、暮らしの医療機関も地域の病院を利用しましたが、歯科、耳鼻科はやはり無理でした。それで7年前から口腔医療センターのことを知り通院しています。その間、受付の方や、衛生士さんが変わらずに子供に合わせた治療を時間をかけてされるので、今ではスムーズに治療台に座ることが出来るようになりました。その上、子供の成長を年3回リコールの度に見守って、声を掛

けて頂くことが知らぬ間に、地域での緊張した毎日を送っていた私自身の精神的なケアをして頂いたのだと感じています。この度の口腔医療センターの「ノーマライゼーション」理念を歯科医療の間でも実現するために歯科医師会の中のネットワーク作り、センターのコーディネーターとしての活動開始に拍手を送ると共に微温湯に足を入れボーとしていた自分自身を反省し、どんどん地域の歯科の門を叩き、ネットワークを利用することでセンターの活動に参加させて頂きたいと思いません。今日、様々な福祉の現場において利用する側とサービスを提供する側との間に距離があり、旨くサービスが利用されない実情があります。それを解消するためにコーディネーターの存在がクローズアップされています。歯科医療のコーディネーターとしてセンターが活動を開始することは、利用する側に多くの選択肢を提供でき、両方の立場で考え、的確に双方の距離を縮めてくれることと存じます。

あちこちで、施設の中にいる重い障害を持っている方々が口腔衛生の面や虫歯が早期発見しづらく最悪の状態で見られ、治療にかなりの時間がかかり本人への負担が大きいという話も耳に入っております。まだまだ、施設や在宅で暮らしている障害を持っている児、者、そして高齢者の人たちが、地域によっては満足いく治療を受けることが難しいです。是非、『ぱるす = PULSE』が大きな『うねり = WAVE』となって日本全国隅々まで押し寄せますように。

保護者対象懇談会開催!!



至る平成 10 年 6 月 20 日(土)午後 6 時 30 分より、札幌歯科医師会館 2 階視聴覚室で保護者対象の懇談会が開催されました。当日は、雨模様の悪天候にもかかわらず多数の保護者の方々と、センター役員が出席しました。

今回は、この懇談会で出された口腔医療センターへのご質問・ご意見を簡単に報告させていただきます。

自宅から遠く、緊急時には利用が難しいので、市内に何ヶ所か同様の診療室を作りたい。

予約をしてもいつも混んでおり、先延ばしにされることが多い。

入所施設に対して、口腔衛生指導を徹底して欲しい。

本人に対して、歯磨き指導や練習の時間を増やして欲しい。

親元から離れ、遠方の施設に入所することを考えると、他の市町村にも障害児(者)ネットワークが拡大され、各地で利用できる体制を作りたい。

医科の分野でも障害児(者)を快く受け入れてもらえる所が、ネットワークされるとありがたい。

尚、駐車可能なスペースを増やして欲しいという要望につきましてはただ今検討中です。満車の際には窓口までご一報下さい。

今回は限られた時間ではありましたが、大変有意義な懇談会とすることが出来ました。この懇談会で出された意見、要望などを、検討し、今後のセンターの運営並びに地域医療の貢献に役立てていきたいと考えております。

障害児(者)ネットワークのお知らせ

口腔医療センターでは、平成 10 年 7 月 1 日より『障害児(者)歯科診療ネットワーク』を開始致しました。ネットワークには札幌歯科医師会の会員 400 名弱が登録しており、北海道大学歯学部附属病院及び札幌医科大学口腔外科、市立札幌病院口腔外科の参加登録も得ています。

障害者歯科診療を行っていく上での全身的管理の必要性を考慮し、より患者サイドに立った紹介、依頼等を円滑、有効に行っていくことが目的です。

ネットワークには歯科医院の住所、電話番号、車椅子での入室の可否等の情報があります。口腔医療センターが、患者さんの希望に沿った医療機関の情報提供を行い、患者さんが自分で選択をして検診又は治療を受ける医療機関を決めることが出来ます。

例えば、『車椅子でも診てくれる歯科医院を紹介してほしい』とか、『センターまで遠くて、通院が不便なので、近所で治療してくれる所を紹介してほしい』など、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせは、すべての情報が集まっている口腔医療センターまで。

TEL 512-9497

FAX 511-1530



皆さんが書いてくれた似顔絵・イラストなどを、この「ぱるす」にのせて、みんなに見てもらいませんか？うまい・へた、似てる・似てないなんて関係ありません。

絵を載せてほしいという方は、いますぐ受付のアイドル森まで。まってまーす。



皆さん こんにちは！！

私達は、口腔センターのアイドル三人組！！



左から、受付の森 恵美子、第一診療室の須摩 美雪
そして第二診療室の新人ケロコこと石川 桂子です。

私達三人は、職場でもプライベートでも幅広く活躍するスペシャルウーマン。!(?)
いつも“明るく、元気で、美しく”をモットーに日々皆さまと楽しくお付き合いさせていただいています。



それでは、ひとりひと言



受付

森 恵美子

第一診療室

須摩 美雪

第二診療室

石川 桂子

待合室で、患者さんやお母さん方と一緒に笑ったり悩んだり、時には泣いたり・・・16年間^{ひきこもごも}悲喜交々の毎日を送ってまいりました。

今の私にとって、患者さん本人や小さな時から一緒に来て下さっているごきょうだいの成長を見たり、皆さんと様々なお話をしてふれ合うことが何よりの楽しみです。又、言葉でのコミュニケーションがスムーズにとれない患者さんとは、こちらの伝えたい気持ちを精一杯の心と眼ざしで問いかけると必ず通じ合えることを身をもって知ることができました。人と人の大切なコミュニケーションの原点を学ばせていただいた思いです。

当センターは“歯科治療の場”だけではなく、何でも気軽に本音で話ができる“あったかい場所”と皆さんに思っていただけのように、スタッフ一同心を合わせて努力してまいります。


私にとって口腔医療センターは、患者さんやその周りを取り囲むご家族、施設関係者の方々と出逢える大切な空間です。歯科を通してお子さんの成長過程や、発想の豊かさにワクワクしたこと、親の愛情の深さを改めて感じる事ができたこと、たくさんの方々とふれあえたこと、全てエネルギーの源です。人と人とのコミュニケーションが稀薄な世の中ですが、ここは、皆さんと理解し合える空間でありたいと願っています。



第二診療室の木村さんの後任として、この口腔医療センターに勤務して、早三ヶ月が過ぎようとしています。

今まで勤務していた所は一般歯科ともまったく違う矯正歯科でしたので、見るもの聞くもの全てが初めての事ばかりでした。ですから、当初は不安ととまどいの中から始まったわけですが、他のスタッフの方々の御指導と、皆さまが暖かく迎えてくれたおかげで、今日をむかえる事ができました。

まだまだ未熟者の私ですが、日々の患者さんとの触れ合いを大切に、皆さまからももっと沢山のお話を聞かせていただいて、一つ一つ患者さんの事を皆さまと一緒に考えていきたいと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

 皆さまお一人お一人の心を大切に受け止めたい！そんな気持ちで頑張っている私達です。これからもどうぞよろしくお願いいいたします。

第1回「施設職員対象口腔ケア講習会開催」のご案内

【目的】『健康な歯や歯ぐきで、おいしく食べたい』これはみんなの願いです。
生活の質（QOL）を考えると、口腔の健康は大きな意義を持つものであり、自分で口腔ケアを行うことが困難な方に対しての適切な口腔ケアは欠かせません。そこで今回、施設の中で、入所している方々の歯みがきを、介助、実施している職員の皆さんを対象に、口腔の機能や衛生を維持する上で必要な知識を会得して頂く為の基本的な講習会を開催いたします。

【対象者】施設職員の方（特に入所者の歯みがきに携わっている方）

【内容】口腔ケアに関する基本的な講習

虫歯と歯周病について

プラークコントロールとは？

義歯の取り扱い、清掃など

実習・・・プラークの染め出しとブラッシングなど

当日、歯ブラシと手鏡をお持ち下さい

【日時・場所】平成10年11月13日（金曜日）午後1時30分～午後3時
札幌市中央区南7条西10丁目 札幌歯科医師会館

お申し込み・お問い合わせは障害者診療部 TEL 512-9497（担当 横濱）まで
10月31日（土曜日）までに施設名、参加人数等をお知らせ下さい。

障害者診療部からのお知らせ

第二診療室の歯科衛生士
木村 有希さんが、6月
25日付けで、退職いた
しました。16年間お疲
れさまでした。

（絵を描いてくれたのは
横見 綾香ちゃん）



夜間救急部からのお知らせ

夜間の歯の痛みなど救急処置を目的としています
継続的な治療は受けられません。ご注意ください。

診療のご案内

診療時間 午後7時～午後11時（年中無休）

住 所 札幌市中央区南7条西10丁目

札幌歯科医師会館内

電話番号 (011)511-7774

必ず保険証を持参して下さい。

お知らせ

口腔医療センターでは、摂食・嚥下機能障害
を有する方に摂食・嚥下指導、訓練を行って
います。

実施日：土曜日 午後2時～5時

予約制ですので、ご希望の方は、口腔医療セ
ンターまでご連絡ください。

*****【編集後記】*****

口に関すること・歯の大切さ!!この事はな
んとなく、いや、すご～く頭の中では理解で
きるけども・・・実際にはどうすれば良いの？
朝起きて磨く・食べ物食べたら磨く・夜寝る
時磨く～なんだ 簡単じゃないの～ 違うん
だなぁーこれが。毎日・毎回となると人間と
して苦しいんだなぁ 実行できないよー。

こんな時口腔センターを思い出して、来て
下さい。口腔センターアイドルがお待ちして
います。

編集委員長 富田達洋